

令和6年6月13日に白塚小学校で開催された  
認知症キッズサポーター養成講座に参加してきました！！



白塚地区では地域全体で  
「認知症の方にやさしいまち  
づくり」に取り組んでいます。  
毎回4年生のみなさんと  
一緒に認知症について勉強  
していますが、今年は初めて  
保護者の方にも聞いて頂きました。



白塚地区社会福祉協議会 伊藤会長 ↑



↑ 講座の先生は津中部北地域  
包括支援センターのみなさん

認知症ってなんだろう

認知症は、さまざまな原因で脳の細胞が  
死んでしまったり、働きが悪くなったり  
するために起こる脳の病気です。

生活支援

コーディネーター通信

※生活支援コーディネーターは  
地域のみなさんとともに地域  
での支え合いの仕組みづくりに  
取り組んでいます。

令和6年  
6月13日 Vol.45

## 白塚小学校 認知症キッズサポーター養成講座

認知症を応援する  
目印として  
「オレンジリング」が  
渡されました。→



### ★脳の細胞が死んでしまうことによって直接起こる症状

- 時間や月日、場所、人がわからなくなる
- 考えるスピードが遅く
- 計画を立てられない、計画どおりに出来なくなる
- 新しい機械が使えなくなる

### ★性格や環境、心の状態によって起こる症状

- 元気がなくなる
- 「ものを盗られた」と思い込む
- 道に迷って家に帰れない



講座で紹介された↑  
絵本  
「ばあばはだいじょうぶ」

認知症のおばあちゃんへの接し  
方について、寸劇を見ながら勉強  
をしました。

孫の「はなちゃん」がやさしくお  
ばあちゃんに接することで『困り  
顔』だったおばあちゃんは安心し  
て『笑顔』に変わりました。



みんなで認知症の人をささえよう  
認知症の人は自分が今までとは違うと感じ誰よりも苦しんだり、悩んだりして  
います。周りの人が認知症の人の不安な気  
持ちを感じ取ったり、何に困っているの  
か気づき、優しく声をかけることが大切

### 第2層生活支援コーディネーターの思い

厚労省によると、2025年、高齢者の5人に1  
人が認知症になると言われ、少子高齢化の日本社  
会で身近な病気になったと言えます。子どもたち  
や保護者の大切な人がもし同じ病気になったら、  
もし地域で見かけたら、どんな行動が良いのか、  
自分には何ができるのかということを考えるこ  
とができました。認知症の人にもさらに優しい町  
となり、そして自分の地域に関心を持つ良い機会  
になったと思います。

### 子ども達の意見

- ・これから知らない人で高齢者の人がいたら、  
助けてあげたいです。
- ・間違った接し方と良い方がわかった。
- ・劇がおもしろくて、よくわかった。
- ・認知症のつらさや大変さがよくわかりました。

